感染症危機管理リーダーシップ研修（IDCL）受講報告

令和７年度第１回感染症危機管理研修会

令和７年５月２３日(金)

令和６年度IDCL（短期）修了生

名古屋市保健所西保健センター

田邊裕

自己紹介

- 平成19年4月～平成31年3月
  病院勤務

- 平成31年4月　名古屋市入職
  名古屋市保健所中保健センター(※)医師、同医務担当主査
  （～令和４年３月）
  名古屋市保健所西保健センター所長（令和４年４月～現在）

※名古屋市は１保健所16保健所支所体制
　保健所支所の名前が「保健センター」

IDCL受講の動機

- コロナ禍に、地域の健康危機管理体制強化が必要だと強く感じた。

- 地域保健対策の推進に関する基本的な指針で保健所が地域における健康危機管理の拠点であることが明文化された。

↓

どうすれば地域の健康危機管理の拠点として役割を果たせるか？

受講で得たもの①
感染症危機管理の具体的業務・行動

- 平時の業務：有事に活用する**資源を作り、普段使い**しておく

  例）　関係者間の会議体構築

  （初動の）標準業務手順作成と、それに基づく演習・訓練

- 有事の考え方、振る舞い方：有事には**何が起こるかわからない**

  例）　リーダーは正しいことを行う

  目的共有、配慮の重要性

受講で得たもの②
感染症危機対応に必要な知識・人脈

- 知識

　　例）　法令の枠組み

　　EOCの概念と具体例

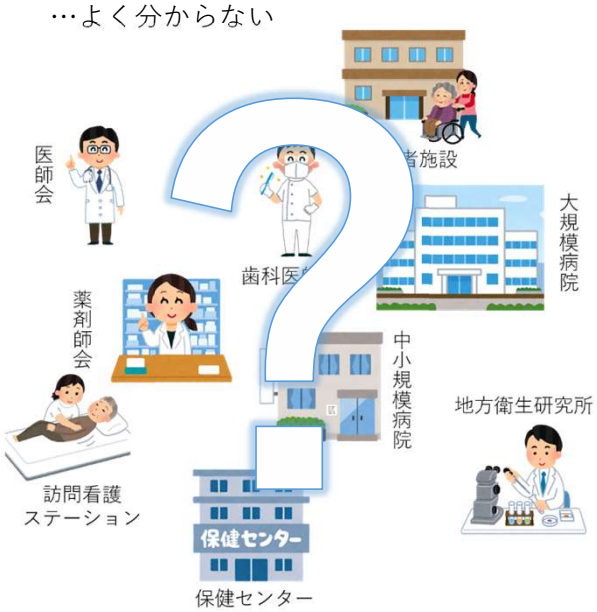
- 人脈

「危機時に一番大切なのは、すぐに相談できる人の数」

私のミッション：感染症危機から西区を守れ！

感染症危機発生！

上位戦略：基本的対処方針？
法令？事務連絡？
…よく分からない



地域の保健医療関係者が霧に包まれた状態
↓
戦略が社会実装されず健康被害が増す

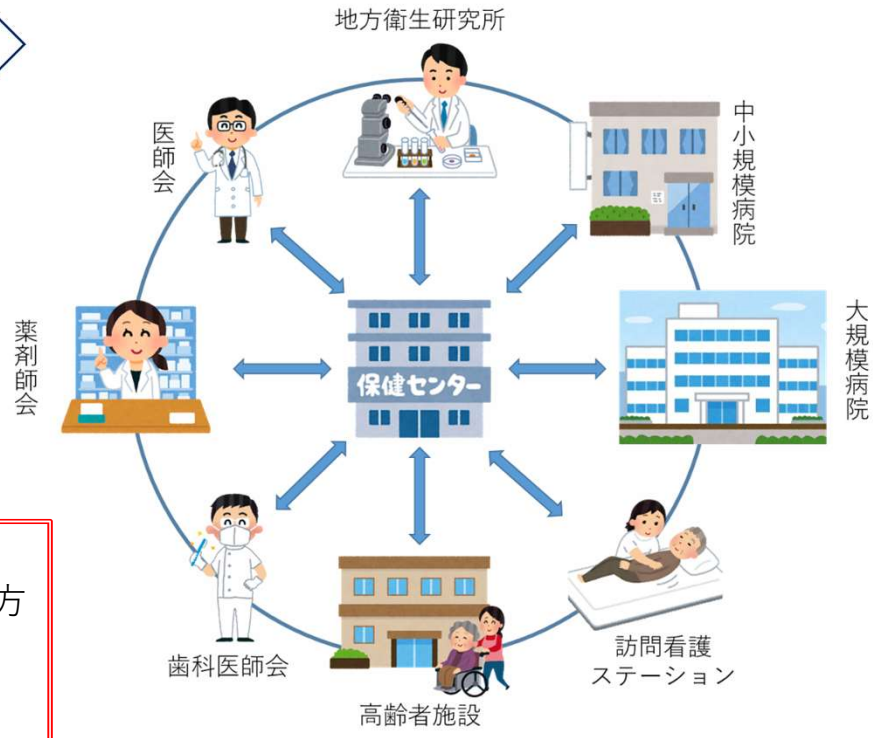
保健センターの**リーダーシップ**で

戦略の解釈と適切な伝達
地域で行う戦術の明示
役割分担の提案　など

これを適切に　行うために…

研修を通じて得た知識、技術、態度
- リーダーシップとマネジメントのあり方
- 法令、基本的対処方針などの位置づけ
- 目的共有の重要性
- 利害関係者の広さ
- 関係機関の役割（とそれに伴う信頼）

理想：感染症危機から地域を守る盾を作る



地域の保健医療関係者が適切に連携
↓
戦略の適切な社会実装で健康被害が減る

こんな方に受講をお勧めしたい

- 健康危機対応を経験し、課題を感じている方
- 組織を動かす立場にある方・マネジメントする立場にある方
- 健康危機管理に興味があり、知識・経験の裏付けが欲しい方

ご清聴ありがとうございました